第34回 長崎県成年軟式野球大会　対馬予選会

会期＝令和８年10月18日（日）
会場＝美津島野球場

ドンジャース　2
対馬・Ｊ　4
1 - 8
球王クラブ

【一回戦】09:29～　１時間32分

ドンジャース	100 000 1	2
対馬・Ｊ	001 003 X	4

【二】森、坂上

先取点は初回のドンジャース。先頭四球からの一死二三塁に森の一ゴロの間に三走の松村が還ったが、二回以降は３四死球に六回二死後は森の二塁打など二度の得点機に一打無く、３点差を追う最終の七回に死球と糸瀬の安打に二死後の四球で満塁とし捕逸で三走が還った１点のみの反撃に終わった。

対馬・Ｊは三回一死後に連続の四死球を得、井が左前打の満塁に坂上の左飛が同点の犠飛となり、六回に先頭四球と井が安打の無死一二塁に坂上の左線二塁打で２走者生還。続く内野ゴロで三進の坂上が平間の中安打で還り３点差を付けた。

【ドンジャース】

		打	安	点	球
⑤	長岡　亮	2	0	0	2
⑥	松村　直哉	3	0	0	1
④	津屋　敏彦	3	2	0	0
⑧	森　俊介	3	1	1	0
⑨	村瀬　裕亮	3	0	0	0
⑦	永留　和秀	3	0	0	0
③1	永留　英昭	1	0	0	2
②	糸瀬　慎吾	2	1	0	1
①	阿比留正臣	1	0	0	0
3	武田　浩二	2	0	0	0
犠0振2残6併0		23	4	1	6

【対馬・Ｊ】

		打	安	点	球
⑨	田中　淳也	2	0	0	1
⑥	一宮　努	1	0	0	2
⑤	井　浩	2	2	0	1
②	坂上　仁志	2	1	3	0
⑦	阿比留新吾	2	0	0	1
①	平間　淳次	2	1	1	1
④	多田　直樹	1	0	0	1
⑧	財部　晃	3	0	0	0
③	原田　武茂	1	0	0	1
犠2振1残4併0		16	4	4	8

【審判】川﨑　仁、高松翔、神宮保夫、多田康佑

【決勝】　11:28～　１時間20分　６回コールドゲーム

球王クラブ	101 042	8
対馬・Ｊ	000 001	1

【三】西山、鬼橋
【二】西山、山代

球王クラブが10長短打で８得点しコールド勝ちした。初回に西山が左中間を抜く三塁打し続く武末の一ゴロで幸先の先取点を挙げると三回にも先頭の西山が中越え二塁打し犠打三進後に山代が左タイムリー打。五回にも西山の先頭左前打から武末も左前打で続き、山代の左線二塁打で二走が還り、一死後に鬼橋の右中間三塁打で二者を還すと平山の二ゴロ失でこの回に４得点。六回に代わった田中に対し扇の先頭安打と敵失の一二塁から武末の右中間適時打に暴投生還で８点目を奪った。

対馬・Ｊは防戦一方で五回までに１敵失走者のみ。六回に先頭の中庭が左前に初安打。三者連続四死球で押し出し点を挙げて一矢を報いたが、続く無死満塁も右飛と左飛で三走が本塁を突き返球併殺を喫して７点差のコールド敗戦。

【球王クラブ】

		打	安	点	球
⑥	西山　静	4	3	0	0
④5	武末　太	3	2	2	0
②	山代　毅	4	3	2	0
⑤	小田　剣生	4	0	0	0
4	福島　浩之	0	0	0	0
①	鬼橋　佑介	4	1	2	0
③	平山　裕二	2	0	1	1
⑨	阿南　真吾	2	0	0	0
H9	福塚　浩二	1	0	0	0
⑧	小宮　憲司	2	0	0	0
8	築城　公則	1	0	0	0
⑦	扇　裕二	3	1	0	0
犠1振3残6併1		30	10	7	1

【対馬・Ｊ】

		打	安	点	球
⑤8	平間　淳次	2	0	0	1
⑥2	一宮　努	2	0	1	1
①6	井　浩	3	0	0	0
②1	田中　淳也	3	0	0	0
⑧5	財部　晃	2	0	0	0
⑦	阿比留新吾	2	0	0	0
④	多田　直樹	2	0	0	0
⑨	中庭美智雄	2	1	0	0
③	原田　武茂	1	0	0	0
H	黒岩　到	0	0	0	1
犠0振1残3併1		19	1	1	3

【審判】松尾吉範、神宮保夫、多田康佑、高松翔

球王クラブは11月21日、22日に大村市で開催の長崎県成年軟式野球大会に出場する。